

2023年5月11日

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社の株主の皆様へ

会 社 名 株式会社 DSG1
代 表 者 名 代表取締役 澤田 大輔
問い合わせ先 管理本部長 渡邊 佳樹
(本件に関するお問い合わせ：info@dsg-1.com)

当社投資先のフューチャーベンチャーキャピタル株式会社の

ライブ中継型 YouTube 討論会へ不参加のお知らせ

本日、投資・M&A 事業、不動産事業等を展開する株式会社 DSG1（本店所在地：愛知県名古屋市、代表取締役：澤田 大輔。以下「当社」といいます。）は、当社が筆頭株主であるフューチャーベンチャーキャピタル株式会社（本店所在地：京都府京都市、代表取締役：金武偉、東証スタンダード市場上場、証券コード：8462。以下「FVC 社」といいます。）の現経営陣からの 2023 年 5 月 8 日付「ライブ中継型 YouTube 討論会参加のお願い」（以下「討論会参加要請書」といいます。別紙 1）に対して、不参加の回答書（別紙 2）を送付いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日付で、株主提案にかかる情報発信メディア「[ライブ中継型 YouTube 討論会へ不参加のお知らせ | 新生フューチャーベンチャーキャピタル（提案株主・筆頭株主：DSG1） | note](#)」においても、当社が現経営陣に対して送付した当該不参加の回答書（別紙 2）の内容を公表しております。

これは、今までも 4 月 12 日、24 日及び 25 日に、当社ホームページにて、FVC 社の適時開示に対する補足説明をしまいましたが、誠に遺憾ではありますが、FVC 社の公表内容は、当社と FVC 社のやりとりについて十分な記載をしないなど、公平とはいえないものであることから、FVC 社の株主の皆様に対して補足説明をせざるを得ない状況が続いているため、予め公表するものです。

現経営陣は討論会参加要請書の中で「当社の取締役会による反対意見に対し、反論や主張があるものと推察いたします。同時に、当社取締役会としては、企業価値向上・株価向上実現に向けた経営ビジョンと戦略を直接自らの口で説明できることは、経営権取得を目指す人物の最低条件であると考えており、株主の皆様全体にもこれが明らかにされるべきと考えております。」と記載したうえで、「つきましては、当社代表取締役 金武偉と提案株主代表 澤田大輔氏による、ライブ中継型 YouTube 討論会の開催を申し入れます。」とあります。

当社は、**現経営陣による反対意見については、FVC 社の株主の皆様の理解の促進のため、**

近日中に当社ホームページ及び note にて再反論を行う予定であるものの、「ライブ中継での討論上手」が上場会社の経営者の条件だとは考えておりません。

よって、ライブ中継型 YouTube 討論会への参加はいたしかねます。

ライブ中継型 YouTube 討論会へ不参加とさせて頂くその他の理由は、以下のとおり3つあります。

1. 有言「不」実行のため、現経営陣とは討論が成立しない

有言「不」実行である現経営陣とは、誠に残念ながら、討論が成立しないと考えます。

2. パフォーマンスで、企業価値、並びに、株主価値は向上しない

上場会社の中期ビジョンや経営戦略は実現できなければ意味がありません。一時的に株主にアピールして賛同を得たところで、中長期的な株主価値の向上とはなりません。

また、再三にわたり、当社は現経営陣に対して、①正しい情報発信を行うこと、②建設的な対話を求めてまいりましたが、それをせずに、最終的には現経営陣の自己保身を目的とするパフォーマンスと理解される本ライブ中継型 YouTube 討論会には参加いたしかねます。

当社は、FVC 社に対して、既に約 16 億円の投資をしてきており、現経営陣とのライブ中継での討論ではなく、筆頭株主として、株主共同の利益のために、FVC 社を確実に良くしたいと考えています。

3. 上場会社は多角的なチェックを経た書面で正しい情報発信をするべきで、ライブ中継での口頭説明は適切ではない

本来、上場会社は、現在の FVC 社の開示文書にあるような華やかな表現や比喩表現を無くし、コーポレート・ガバナンスの観点からも、社外役員・監査等委員や弁護士等専門家の多角的な観点から検証された事実に基づいた「書面」で、正しい情報発信を行うべきであり、ライブ中継での口頭説明は適切ではありません。

現経営陣は、ライブ中継での討論を求めるばかりか、上場会社が求められる適時開示やホームページでの情報発信においても、株主の皆様に対して不必要に煽るような内容が多く、正しい情報発信を行っておりません。

そのことは以下の比喩の記載からも明らかです。

(1) 2023 年 5 月 8 日付「2023 年 3 月期決算説明資料」

24 頁「ロールモデル Berkshire Hathaway Inc. 会長兼 CEO ウォーレン・バフェット氏」

(2) 2023 年 5 月 8 日付「株主提案の各主張への反論」

- ① 1 頁「サン電子株式会社は、過去に経営者交代を図る株主提案がだされましたが、提案提出後一時は 855 円まで下がった株価は経営者交代後に 4000 円

まで上昇しています。」

- ② 3頁「当社は、時価総額 80 兆円を果たしたウォーレン・バフェット氏に倣い、待つべき時は待ち、動くべきときは一日を惜しんで投資実行を連発する投資会社を標榜し、これぞという機会に遭遇すれば即座に案件実行する態勢にあります。」
- ③ 7頁「例えば、ウォーレン・バフェット氏率いるバークシャー社は、家具の小売企業に永久投資をしています。そのことについて、「バークシャー社が投資会社ではなく家具領域の事業会社へと変化した」と評する方はおりません。」
- ④ 9頁「上場後にイーロン・マスク CEO に対し付与し、その付与後 4 年以内に 20 倍の株価上昇を遂げたテスラ社のインセンティブ設計にあります。」

以上の理由から、当社は、ライブ中継型 YouTube 討論会への参加はいたしかねます。

以上

2023年5月8日

株式会社 DSG1 御中
代表取締役 澤田大輔 殿

ライブ中継型 YouTube 討論会参加のお願い

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

当社は、貴社より、2023年6月13日開催予定の第25回定時株主総会（以下、「本総会」）における議題について4月4日付け株主提案（以下、別途受領した4月11日付け「議題及び議案の変更」と題する書面と併せて、「本株主提案」）を受領しておりますが、本日開催の取締役会において、本株主提案に対して反対することを決議いたしました。

貴社におかれては、当社の取締役会による反対意見に対し、反論や主張があるものと推察いたします。同時に、当社取締役会としては、企業価値向上・株価向上実現に向けた経営ビジョンと戦略を直接自らの口で説明できることは、経営権取得を目指す人物の最低条件であると考えており、株主の皆様全体にもこれが明らかにされるべきと考えております。

つきましては、当社代表取締役 金武偉と提案株主代表 澤田大輔氏による、ライブ中継型 YouTube 討論会の開催を申し入れます。日時・場所・回数はすべて澤田様の指定によるものとします。澤田様の応諾により本討論会が実現した場合、その録画は一切編集することなく、速やかに当社ホームページに掲載いたします。

招集通知の発送ならびに株主による議決権行使の開始が迫っておりますことから、本討論会の開催に関するご返答は、**2023年5月11日まで**に頂けますと幸いです。

以上

不参加の回答書

2023年5月11日

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役 金 武偉 殿

株式会社DSG1
代表取締役 澤田 大輔

前略

今般貴社より、2023年5月8日付「ライブ中継型 YouTube 討論会参加のお願い」と題する文書（以下「討論会参加要請書」といいます。）により、貴殿と当社代表者とのライブ中継型 YouTube 討論会への参加の求めを受けました。

現経営陣は討論会参加要請書の中で「当社の取締役会による反対意見に対し、反論や主張があるものと推察いたします。同時に、当社取締役会としては、企業価値向上・株価値向上実現に向けた経営ビジョンと戦略を直接自らの口で説明できることは、経営権取得を目指す人物の最低条件であると考えており、株主の皆様全体にもこれが明らかにされるべきと考えております。」と記載したうえで、「つきましては、当社代表取締役 金武偉と提案株主代表 澤田大輔氏による、ライブ中継型 YouTube 討論会の開催を申し入れます。」とあります。

当社は、現経営陣による反対意見については、FVC社の株主の皆様の理解の促進のため、近日中に当社ホームページ及びnoteにて再反論を行う予定であるものの、「ライブ中継での討論上手」が上場会社の経営者の条件だとは考えておりません。

よって、ライブ中継型 YouTube 討論会への参加はいたしかねます。

ライブ中継型 YouTube 討論会へ不参加とさせて頂くその他の理由は、以下のとおり3つあります。

1. 有言「不」実行のため、現経営陣とは討論が成立しない

有言「不」実行である現経営陣とは、誠に残念ながら、討論が成立しないと考えます。

2. パフォーマンスで、企業価値、並びに、株主価値は向上しない

上場会社の中期ビジョンや経営戦略は実現できなければ意味がありません。一時的に株主にアピールして賛同を得たところで、中長期的な株主価値の向上とはなりません。

また、再三にわたり、当社は現経営陣に対して、①正しい情報発信を行うこと、②建設的な対話を求めてまいりましたが、それをせずに、最終的には現経営陣の

自己保身を目的とするパフォーマンスと理解される本ライブ中継型 YouTube 討論会には参加はいたしかねます。

当社は、貴社に対して、既に約 16 億円の投資をしてきており、現経営陣とのライブ中継での討論ではなく、筆頭株主として、株主共同の利益のために、FVC 社を確実に良くしたいと考えています。

3. 上場会社は多角的なチェックを経た書面で正しい情報発信をするべきで、ライブ中継での口頭説明は適切ではない

本来、上場会社は、現在の貴社の開示文書にあるような華美な表現や比喩表現を無くし、コーポレート・ガバナンスの観点からも、社外役員・監査等委員や弁護士等専門家の多角的な観点から検証された事実に基づいた「書面」で、正しい情報発信を行うべきであり、ライブ中継での口頭説明は適切ではありません。

現経営陣は、ライブ中継での討論を求めるばかりか、上場会社が求められる適時開示やホームページでの情報発信においても、株主の皆様に対して不必要に煽るような内容が多く、正しい情報発信を行っていません。

そのことは以下の比喩の記載からも明らかです。

(1) 2023 年 5 月 8 日付「2023 年 3 月期決算説明資料」24 頁「ロールモデル Berkshire Hathaway Inc. 会長兼 CEO ウォーレン・バフェット氏」

(2) 2023 年 5 月 8 日付「株主提案の各主張への反論」

① 1 頁「サン電子株式会社は、過去に経営者交代を図る株主提案がだされましたが、提案提出後一時は 855 円まで下がった株価は経営者交代後に 4000 円まで上昇しています。」

② 3 頁「当社は、時価総額 80 兆円を果たしたウォーレン・バフェット氏に倣い、待つべき時は待ち、動くべきときは一日を惜しんで投資実行を連発する投資会社を標榜し、これぞという機会に遭遇すれば即座に案件実行する態勢にあります。」

③ 7 頁「例えば、ウォーレン・バフェット氏率いるバークシャー社は、家具の小売企業に永久投資をしています。そのことについて、「バークシャー社が投資会社ではなく家具領域の事業会社へと変化した」と評する方はおりません。」

④ 9 頁「上場後にイーロン・マスク CEO に対し付与し、その付与後 4 年以内に 20 倍の株価上昇を遂げたテスラ社のインセンティブ設計にあります。」

以上の理由から、当社は、ライブ中継型 YouTube 討論会への参加はいたしかねます。

草々